

各地区業況アンケート結果（31年1月調査分）

（31年1月21日）

全国鉄鋼販売業連合会

1月18日締切で、当会役員146名に対しこのアンケートを行ったところ75名の回答があり（回答率51.4%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 前年同月比の売上数量は全体的にほぼ横這い

問1】貴社の12月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	8	14	33	12	8	75	74
比率	11%	18%	44%	16%	11%	DI+3	DI+65
売上金額/前年同月比	13	22	23	14	3	75	74
比率	17%	29%	31%	19%	4%	DI+37	DI+91

2. 6割が黒字

問2】貴社の12月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	17	28	19	9	2	75	74
比率	23%	37%	25%	12%	3%	DI+65	DI+114

3. 自動車向け以外は年明け若干減少ぎみ

問3】貴社の営業窓口から見て1月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	5	38	12	1	57	-12	+5
民間建設向	1	11	36	12	1	61	-2	+20
自動車向		5	26	4		35	+3	-3
その他需要家向		12	40	13		65	-2	+2
仲間取引		4	34	20	2	60	-33	-21
計	2	37	174	61	4	278	-10	+1
比率	1%	13%	63%	22%	1%			

4. 大きな落込みなく横ばいで推移

問4】貴社における向う2月から4月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	23	30	16	1	71	74
比率	1%	33%	42%	23%	1%	DI +10	DI +11

5. コラム不足が深刻

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	品種別	A	B	C	D	E		1月	
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
10	8	-4	-17	0	0	-7	7	-3	3	0	0	19	鉄筋用丸鋼		5	21	2		28	11	
3	-4	7	10	10	10	13	13	0	6	15	7	0	構造用丸鋼		3	21	3		27	0	
3	0	0	-10	-3	-3	-6	0	-9	-3	0	-3	3	平角鋼		3	28	3		34	0	
38	25	22	8	-6	-3	10	9	9	3	18	41	41	H形鋼	1	10	22			33	36	
54	29	48	11	33	38	59	67	76	81	100	125	89	コラム	7	17		1		25	120	
11	19	3	0	3	-6	0	-9	-8	-3	-11	5	3	小形山形鋼		1	32	3		36	-6	
6	-7	0	-13	-18	-12	-3	-14	-11	-8	-11	3	3	中形山形鋼		2	30	4		36	-6	
11	0	-3	-3	0	-9	-3	-6	-11	-3	-11	5	0	溝形鋼			32	3		35	-9	
0	4	-3	-16	-15	-14	-11	-3	0	-9	-16	-6	-14	軽量形鋼C形			29	3		32	-9	
5	-5	-9	-16	-16	-15	-10	-11	-9	0	-5	-5	-5	軽量形鋼広巾		2	16	2		20	0	
22	44	41	32	4	14	13	8	4	7	12	8	12	冷延薄板	1	1	21	3		26	0	
46	61	50	31	27	23	12	11	-3	-3	0	17	14	熱延薄板	1	7	19	4		31	16	
53	73	59	50	40	33	27	14	3	6	3	0	8	表面処理鋼板		5	18	5		28	0	
69	76	80	52	32	25	18	11	-3	-3	-10	20	34	酸洗鋼板		6	25	1		32	16	
53	76	55	24	21	19	16	7	5	7	7	20	20	中板		10	26	3		39	18	
21	18	21	8	-6	14	14	10	23	31	41	49	45	厚板	1	14	18	3		36	36	
0	-7	6	-6	0	13	0	0	11	25	13	33	19	極厚板		4	10	3		17	6	
6	-4	3	-7	3	-10	-3	3	3	-3	-7	0	6	縞板		1	27	3		31	-6	
3	7	0	-12	-11	-5	-12	0	-7	2	3	16	3	中径角		5	27	5		37	0	
8	-3	3	-9	-8	-8	-6	10	2	-5	0	3	8	ガス管黒	2	5	27	4		38	13	
3	-3	-3	-14	-6	-8	-12	3	-2	-5	-3	-3	-8	構造用鋼管		3	31	3		37	0	
21	22	18	5	4	4	5	5	2	5	5	14	14	計	13	104	480	61	0	658	10	

6. 需要は堅調だが、メーカーの供給姿勢に流通の不安が募る
 問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	(形鋼) 完全に冬の荷動きとなり、1月も全く期待できない。
	B	(丸棒) 1月は完全な不需要期。荷動きは極端に少ない。価格動向を注視しながら春需に向けて在庫量を検討中。
	C	先月から予測していたより出荷ペースが落ちている。利益も減少。だんだん雲行きが怪しくなってきたような気がする。
東北	A	地元ファブの動きは鈍い。商社、メーカーからの一次加工は多い。
	B	(鉄筋) ユーザーへ年始回りに行っても様子見の姿勢が徹底している。しばらくは新規成約が困難で厳しい。
	C	建築絡みの仕事がメインで加工の仕事が多い。加工会社の忙しさは暫く続く。土木関連の新規案件は、かなり減少するのではないかと。
	D	山形地区は季節要因もあり、公共土木及び建築関連は物件数が少ない状況。今期はほぼ発注済みである。新たな案件は5月以降に期待。地場ファブの山積みははまだ高く変化ない。来期も需要は見込める模様。但し、建築鉄骨の主要となるBCP、SH、厚板、ボルトなどのタイト感は変わっていない。引合いはあっても繋げない品種も出てきている。
新潟	A	年明け後、スポットの引合いが減少した。Mグレード中心に半年分の仕事は確保している。既に秋以降の引合いもあり、価格設定に困っている。
	B	入荷量が少なく、売上も冴えない。冬物商品の生産も終わり静かである。
	C	材料手当てが深刻化している。特にコラム。加工も6月頃まで工程が埋まっているが今後が心配である。今年の建設需要は心配いらないと思われる。
	D	暖冬の影響で冬物商品苦戦、建産機輸出は堅調、自動車関連はトラックが堅調。全体的に季節商品以外が堅調に推移し今後は輸出関連に不透明感がある。建築関連はファブの山積みが高く好調に推移。特に建材需要向けの品薄感が強い。
	E	地場案件の引合いが少なく、在庫品の荷動きが悪い。
	F	12月の需要は建築が引っ張っている。荷動きは比較的活発に推移している。1月は引き続き12月繰越分の仕事を継続している。稼働日数が問題である。
	G	鋼材価格は様子見といったところで値上げが進まない。ファブ以外の需要動向もよく横這いといった印象である。暖冬で雪が少ないが、振らないと荷動きがない業界もある。
神奈川	A	メーカーの設備トラブル等もあり、どの程度タイトな状態になるのか危惧している。足音はそれほど感じられないが、昨年10月をピークに仕事量は稼働日数の関係もあるが落ち着いている。
	B	仕事は先行きまで計画されているが、部材手当てが長期になるため数ヶ月遅れで着工せざるをえないケースが目立つ。
東京	A	11月は忙しく売上が伸びた。12月、1月と需要が続かずタイト感もないため価格転嫁に苦労している。
	B	価格転嫁が進まない。高炉メーカーのトラブルなどから引受けカットを行っているが、いまだ市中在庫が多い。在庫調整には時間がかかると思われる。
	C	(鋼管) 製品タイトが強まる。供給の遅れ、メーカーの引受けカットが進み、仲間取引に活発になっている。

東京	D	1月の表面処理の材料需給はまだ切迫状態になりそうもない。来月頃から高炉メーカーの大幅申込みカットが影響してくるかもしれません。
	E	需要は堅調だが、価格が上がらない。集購やその他ヒモ付きとの格差がある。価格を上げるとヒモ付きにシフトされる懸念もあり、踏み切れない業者もあると聞く。シェア確保か値上げか各社様々だが、いずれにしても店売りマーケットで収益確保するには値上げが必須と考える。
	F	表面処理鋼板は建材分野の需要が好調で加工、出荷が間に合わない状況が続いている。在庫もメーカーのロールカットの影響でタイトになってくる。年度末に向けて更に忙しくなると思われるので在庫を大切に高値で販売していきたい。
	G	(鋼管) 堅調な土木向けに加え設備向け配管類も動き出し始めた。現在、数量は前年同月比20%強で推移している。
静岡	A	前月までの繁忙感はやや薄れたが、加工需要はまだまだ旺盛で納期対応に追われている。スクラップ価格は値下りしているが、各品種の仕入価格はまだ強含みであり、足元、価格転嫁に苦慮している。
	B	材料確保がプライオリティ(優先順位)の1番であるのは建築業界の話である。施工が進捗している現在、重機オペを始めとする人手不足が深刻化している。利益なき繁忙ではないと思うが大変である。鉄鋼製品の価格是正が進んでいるとはいえ協調している感が薄い理由のひとつはメーカー、商社、大手流通が取り扱っている大きな取引である。店売り、二三次店の取り扱う小さい取引では相変わらず小競り合いが続いているのが現状。これが価格是正の障害である。業界全体が繁忙状態と評されているが販売金額、数量ともに芳しい感覚は薄い。一部の地域で対応させて頂いている鋼管杭事業も確認申請許可、現場重機オペ不足の影響か販売計画(売上)、工程ズレが集中的になる感があり、対応物件が多いのは有難いが不安もある。
石川	A	諸所の要因の不足(人、物、物流)でスピード感は遅れているが、各業界との諸条件の是正の進行度にばらばら感があるのは仕方がない。来年まで現状のまま進み、相場の変動も大荒れなく過ごせる一年になると思うが自然災害、各国首相、大統領の性格の荒さに予測がつかない人物が多いので何が起きるか判らない。市況がうまく順応してくれればよいが。
	B	熱延薄板の品薄感が顕著である。メーカーからのデリバリーも遅れ気味のためコイル契約の出来上がり重量も従来に比べ目減りしている。それでもユーザーに危機感を覚えてもらうまでには至らず価格転嫁は難航している。酸洗鋼板は一時ほどのタイト感はないが高炉メーカーのトラブルによって油断はできない。
富山		鉄骨物件はもろもろの段取りが付かず正月休みも取れることになった。プラント物件は小学休み返上で多忙。住宅部門も増加傾向である。
岐阜		年末年始の休みがあったが、バタバタした荷動きはなく落ち着いた。産業機械、設備関連の荷動きが少し落ちた感がある。建築、建築金物関連などの仕事は堅調である。
愛知	A	鋼板はタイトな状態だが、1月に入ってから荷動きがまだまだであるので支障をきたすことはない。客先は仕事量の豊富な所、全くない所と両極端になってきた。1~3月はこのような状態が続くと思われる。新年度に期待する。
	B	好調だという所とそれ程でもない所とまちまちだが、締めてみるとまずまずの数字を残したという状態か。年明けもそれが続いている。自動車は消費税上げの駆け込みは生産計画にも表れていて期待が持てるが他の分野はまちまちである。年度末の需要に期待している。

愛知	C	細かい加工が増えており手間がかかるが利益が少ない。鉄筋メーカーロールは納期がかかるので現物引合いが増えている。コラム、ボルトの不足により鉄骨建方の遅れが出ている。
	D	自動車、TNGAにより設計変更があり、大口は一次の内製化が進展し、二次ではコストアップで採算が悪化。全体として運送会社的大幅な値上げがあり、採算が悪化している。高炉の不調から溶協メーカーはコイルのやり繰りで困っている。中径角など入荷が遅れている。当地区の自動車計画は高水準だが、コストアップ要因が多く厳しい状況。家具、陳列の関連の当地区の動きは例年より悪い。
三重		物件は豊富にあると聞くが売上が昨年並である。やはり工期ずれが原因か。中小ファブを主客とする間屋は同業他社と決まった量の取り合いをしており、この時期ですら思った程の利益が取れない。一次加工も、納期、精度、ショットは多種多様で簡単に量を増やすわけにはいかない。
大阪	A	鉄骨造物件でファブの能力問題、ハイテンボルトの不足と言った問題から工期遅れ、物件自体の見通しといったケースも散見される感じで先行き危惧される。一方、戸建住宅については消費税増税前の駆け込み需要もあり堅調である。
	B	10月、11月と比べ荷動きは落ちているが、日当りでは変わらない。スクラップ価格が軟調に推移している。メーカーの売腰が強いため販売価格は採算ラインまで押し上げられていない。現状価格を何とか持ち堪えている状況である。
	C	運送をはじめコスト増の影響が大きく、メーカー値上げとは関係のない価格転嫁が必要である。
香川		スクラップ状況などもあり、価格が通りづらくなってきている。ここで上げられないと非常に厳しい状態になる。相変わらず、トラック、トレーラーは捕まえづらい状況が続いている。
北九州	A	市況は横ばい。H形鋼は歯抜けがあり、メーカーからの入荷も遅れ気味で品薄感は継続模様。スクラップは弱含みで推移しており、販売価格に上伸力はないように思われる。
	B	年末年始と荷動きは低調。価格に柔軟な対応の場面も見受けられるが、まとまった引合いは少なく相場は横這い。沖合に雨雲が発生しているが、九州の建築需要は先々堅調。5月の大型連休もあり、年度明け位から荷動きも好転しそうである。輸送面はかなりタイトでメーカーのデリバリーは更に悪化、早めの品揃えが必要かと思われる。
	C	世界情勢プラス国内状況イコール景気なのか。相変わらず人手不足で鋼材の消費が鈍いようだ。